

## 三月二十七日 通信



平成十八年三月二十二日、ほくほく線開通記念日に実施した『特急はくたか』ご利用感謝祭、山地に野生するオニグルミが一足早い桜花のような美人女将によって色鮮やかに変身し、受け取ったお客様との会話に華が咲き、余裕の四五分間もの作業列車の旅が走馬灯の如く瞬く間に過ぎた、なが～い列車の短い旅の一時と、そんな感じで終了した感謝祭を感じたままに紹介しま～す。

この事業は数年後に迫る北陸新幹線開業を前に、ほくか』が、やがてはその勇姿が見られなくなるであろうと、いるお客様に沿線住民としての感謝の意を表す心意気魅力と共に最大限アピールし、首都圏や加賀百万国の大しでも多くの方々から来訪されることを願望し、観光交性化を目指す内容とした取り組みを企画したものである。



ほく線を潤す『特急はくたかも、今のうちにご利用される、観光の源である里山の都市の消費者に向けて、少流人口の活用で地域の活

### そんなことで？

昨年は自然の果実の豊作年、早秋よりこつこつと拾い集めたオニグルミ、時には草を掻き分けマムシの頭を撫でてしまったハブニング、蜘蛛の巣と蜂やブヨとの格闘も、欲が絡めば昨日の事、笑顔で語れる収穫は、外皮を含めて五百キロ、雨に晒して、腐らして、外皮剥いての水洗い、掻き混ぜ洗いは数時間、天日で乾燥数週間、長こ作業の道程で、完成された物品は二百キロで二万粒、よくぞかけたほくほく線発祥 地の誇り、自然の恵みに感謝する、里

初冬の早い雪に見舞われ、数々の問題を克服し三月十三日に品作り作業、目標の一・六〇〇人分・八十キロ、配布準備のバ四十キロが準備出来たのは夜の九時を回った程の大量仕事で膨大な数の物品搬送に悩まされた、その結果の答えは二組二十個口として一人二個口（クルミ六K・パンフ七K）・追加準備の二個口は（クルミ十一K・パンフ二十五K）と、六人一組体制で行動することに決まった。



会員の応援を得て、袋詰の粗ンフレット一・一〇〇部・百あった、一夜明けての難題は四分割して搬送し、一組十二

### ～～～ 八日間の時が流れて二十二日の松代駅 ～～～

この日の応援団は、松之山郷南組（松之山）からは各旅館の女将五名がはせ参じ、北組（松代）からは会員婦人の四名と、あとは黒子に徹して重い荷物を汗して運ぶ男衆理事四名が参集し、揃いのほっぴに身を包み打合わせもそこそこに、北組は松代駅八時十三分発のほくほく線で直江津から「上りのはくたか」に乗車少し遅れて南組は八時五十六分発のほくほく線で湯沢駅から「下りのはくたか」に乗車するべく出発す「特急はくたか」に乗る ことで多少の緊張が士気を熟した果実の甘いほのかな香り立つ、雰囲気ある婦人ゼントのオニグルミが、姫グルミの如く変身する接客聞く人々の会話に笑顔が絶えず、二時間ほどの待ち列車に乗り込んだ、車内放送で感謝祭を告げ六両編成のは、一車両十五分程度と計算するも、婦人の差し出すでパンフレットを開いての質問等が、地域宣伝の効果を生み、予定時間をオーバーするハラハラ、ドキドキの作業も終着の湯沢駅までには何とか間に合い、乗り継ぎで降りるお客様からお礼の声が何時までも聞こえ、その後ろ姿が見えなくなるまで手を振り別れた感激は今も鮮明に蘇って来ます。



るもどちらも初めての試と初めて高める妙薬としての効果が生まれ、達が待合室のお客様に奉仕するプレ対応が好評で松之山温泉の所在地を間が瞬く間に過ぎて本番を迎える列車両を前後に別れ二人一組での提供オニグルミに興味を示し会話が弾ん

### 大成功理に終わった初めての事業成果は

テレビ報道では、NSTで午後五時五〇分から二分間、新聞三日に上中1ブロック版にて写真入りでの評価の報道が掲載され

### 自己評価として

当日推定で『特急はくたか』の乗客数は、上りで三百人弱・下が、持ち込みした贈呈品は、上りは北組・下りは南組で、各組共光パンフレット五五〇部づつであった、女将乗り込む南組での残とパンフレット百部、北組の残品はクルミは約二〇〇袋とパンフした数はクルミで千三百袋、パンフレット六〇〇部と多くのお客様と直接に会話を含めて対応した宣伝の効果は、これからの観光対策の改革的要素として特筆すべきものであったことを成果報告と致します。

地元では粗末に扱う野生品、触れ合うことのない人々には特産品としての高級的価値観で触れ合えることを、自然が優しく囁いてくれておりますよa&

本日の授業は、これにて終了致しました



では新潟日報での三月二

りも三百人弱と思われたオニグルミ八〇〇袋と観品はクルミが約一〇〇袋レットが三百部で、配布

浅学非才の村山の通信ですので悪しからず。